

特定非営利活動法人

ハズオン!埼玉 **Hands On!**
HANDS ON! HANSAI

2013 年度
第 9 期 事業報告書

2013.6 ~ 2014.5

2014年度のまとめと課題

私たちの暮らしや社会は、私たち自身がつくることができる。そのためにどんなコミュニケーションを創り出していくことができるか——今年度も会員やボランティア、あるいは企業、行政のみなさんとさまざまな活動を行ってきました。

今年度は、まず年末に認定NPO法人となることができ、震災支援の寄付などに活用することができました。おとうさんのヤキイモタイムは9回目を終え、『福玉便り』の発行、福玉ママカフェの開催などの広域避難者支援の活動も継続して行いました。

また、新規の事業として、さいたま市との協働で、さいたま市独自の父子健康手帳『父子手帖・さいたま市で父になる』を編集しました。家族に閉じずに、まちで、みんなで子育てをしませんかと呼びかける内容にしました。たくさんの体験談を寄せていただき、また、これまでのハンズオンの様々な活動から生まれた知恵を活かしたユニークな冊子となり、多数の新聞社・放送局の方々にとりあげていただき、大きな反響をいただきました。

一方、今年の総会で会員のみなさんに相談いたしましたハンズオンの本をつくるという企画は、果たせないままに一年が経過いたしました。断続的に企画・編集のための会議は開いてきたのですが、今後のハンズオンのあり方などもからめて、どのようなかたちでまとめるのがよいのか、議論がまとまらずに終わりました。2014年度中には必ずなんらかの発信を行いたいと考えております。

ハンズオン埼玉は設立から今年で10年を迎えます。さまざまな事業・活動に挑戦し、社会に対し、ユニークな発信を行ってきたという自負はあります。ただ、経済的には安定することはなく、生活を支えていくだけの給与を確保することが十分にできたとはいえません。また、NPOに対する一定の社会的な理解と、寄付税制などの制度が整ったいま（見直しの動きもあります）、NPOの中間支援組織としての課題もとても見えづらくなっています。

小さな声がきちんと扱われ、だいにされる社会をつくりたい、聴き合い、よびかけあえる社会をつくりたいという思いで、10年前にこのNPOを立ち上げました。

しかし、10年前と比べても、暮らしの市場化・外部化（お客さん化）がよりいっそう進みつつあり、他方で、戦後つづいてきた政治や社会のありようを大きくかえようとする動きが加速しています。あらためて私たちがどんな社会を望むのかを問い直し、ハンズオンという器をつかって、何をどんなふうに出信していかなければならないのかが問われていると思います。

そこで、今年度は、①本の発行をふくめ、ふりかえり、まとめの一年、②ハンズオン埼玉というNPOのこれからの可能性について、会員のみなさまはじめ多くの方々とも模索したいと考えております。お声をお待ちしています。

運営の報告

1. 会員数 正会員 30人（前年度 28人）
賛助会員 52人（前年度 50人）
2. 理事会開催 於ハンズオン事務所
（住所：浦和区高砂 2-10-6）

第36回 2013.8.23
第37回 2012.12.26
第38回 2013.3.26
（第39回 2013.7.24）



2013年12月1日からハンズオン埼玉は「認定」NPO 法人になりました。

2011年のNPO法改正後、ハンズオン埼玉では認定NPO法人制度の勉強会をいち早く実施してきました。2012年度の新しい公共に関わる県の委託事業では、県内のNPO法人に対して、認定取得の可能性についてアドバイスを行ってきました。そして、私たち自身も普段からの寄付や賛助会費のサポートに加え、震災支援に関わる多くのご寄付をいただいたこともあり、改正後の新しい認定基準（3,000円以上の寄付者が年100人）ではなく、従来から存在している「公的資金以外の収入の内、寄付金の占める割合が20%以上」という基準をクリアすることができました。認定取得により、ハンズオン埼玉に寄付をした「個人」「団体」は税制優遇を受けられることとなりました。また、遺産をハンズオンに寄付し

た場合、相続税が免除になるといったメリットもあります。お心あたりのある方はぜひご活用ください。

認定NPO法人は、税制優遇という高い公益性を認められた団体ですが、その根拠は、行政によるお墨付きではなく、情報公開による高い透明性の確保と「多くの市民が支持している」（上記寄付金についての認定基準＝パブリックサポートテストをクリアしている）ことにつきます。ハンズオン埼玉では、「愛とゆる」をもっと一に引き続き多くの皆様と一緒に歩んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。





事業報告3 ●東日本大震災・原発事故の避難者支援 「最後のお一人までお届けしたい…」

東日本大震災および原発事故の埼玉県内避難へ避難されている方向けの情報誌『福玉便り』の発行を他の団体と協力して継続発行しました。2013年4月からは、赤い羽根共同募金の助成をいただき一年間、発行を継続しました。印刷も引き続き富士ゼロックスの社員ボランティアの皆さんが無償で担ってくださっています。また、(一社)埼玉労協協さんを中心に、ほぼ隔月で、『福玉会議』を開催し、県内各地で活動している避難当事者グループおよび、支援者団体の意見交換、交流の場をもちました。

2012年6月に制定された議員立法「原子力事故子ども・被災者支援法」も、自主避難者の望みでしたが、翌10月には対象を33市町村に制限することが閣議決定され、理念が骨抜きになってしまいました。

相変わらず毎年3月の直前まで借り上げ住宅の補助が延長になるのか/打ち切られるのかわからない、といった先の見えない状況にあって、子どもの進学などの節目を機に、とか貯金を使い果たして、という局面で新たな決断を迫られている方や、長期にわたる避難生活に疲れの表情を見せる方も多くいらっしゃいます。「交流会に出てこられる方はどんどん元気になっているけれど、出られない方はますます引きこもってしまう悪循環になっている」という浪江町復興支援員さんのお話も伺っています。

2013年12月、加須市旧騎西高校避難所から最後の4世帯が退去されてからは「埼玉には避難者はもういない」と思われていたり、復興庁発表の避難者数2900と福玉便り独自調査の5800とは大きな差があり、把握することすら難しい実態が浮き彫りになっているなど、当事者の悩みとは裏腹に問題はどんどん小さく見せられているのでは、とさえ思っています。

法律や賠償問題・教育・住宅・相談機関に関することといった、必要な情報や交流会の案内、避難中の方へのインタビューなど密度の濃い紙面は県内外で昨年に引き続き高い評価をいただき、茨城千葉東京などでも同様の冊子の作成が試行されています。「すぐ帰れると思って鍵もかけずに出てきた」と振りかえる方はたくさんいらっしゃいますが、長期化する避難生活に備え、改めて今後の支援のあり方を見つめ直す時期かもしれません。

「福島にいた頃は明るく知らない人にも話しかけることができていたのに、都会的な対応が続き話せなくなりました」…まだ出会えていない孤立している一人でも多くの方に「ひとりじゃないよ」というメッセージをお届けしたい。今後も、県内20数カ所であがり活動が続ける避難者・支援者のグループや交流会の動きと連動し、つながりの輪をひろげながら、どんな選択であっても、お一人おひとりの決断・気持ちを尊重・応援するという方針で活動していきたいと考えています。

【活動の記録】

- 『福玉便り』
 仕様：月刊 A4 8ページ
 発行部数：4000部
 発行：『福玉便り』編集委員会
 ・一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会
 ・NPO法人ハンズオン埼玉
 ・生活協同組合コープみらい埼玉県本部
 編集デザイン：NPO法人ハンズオン埼玉
 印刷：富士ゼロックス埼玉端数倶楽部のボランティアのみなさん
 助成：赤い羽根共同募金
 2014年5月現在25号までを発行しています。通常、避難されている方向けに発行しているものとは別に、一般の方向けに避難の状況を知っていただく『2014年春の特別号』を発行しました。ウェブサイトでもPDFを配信しています。
- 『福玉募金』
 福玉便りの発行はじめ、県内避難者支援を継続していくために募金活動を行いました。
 2014.3～ 号外の発行にあわせ福玉募金として寄付をよびかけ
 2013.5.31 現在530,423円円をいただきました。
- 『福玉会議』
 ほぼ隔月で開催 毎回、20団体以上が参加。

- 報道など
 NHK 首都圏ネットワーク「震災から3年 求められる情報紙の役割」 2014.03.07 放送
 NHK ニュース「様変わりする「福玉便り」」 2014.03.11 放送
 朝日新聞「東日本大震災3年_思い続けて」 2014.03.12 全国版
 読売新聞「彩人伝・避難者支援情報提供で」 2014.3.16 埼玉版 ほか

●福玉便り編集部にいただいた手紙より
 同封した読者アンケートハガキで状況や感想を寄せていただきました。

■道ばたに落ちた栗を拾い、新米で栗ご飯を炊きました。栗は冷凍して保存、お正月に集まる家族達にも振る舞いました。鮭の水揚げで大にぎわいの漁港に実家は直近。やな場の食堂はいくらの山盛り丼、みそ焼き鮭に舌鼓を打ったものです。船主直送で都会の孫子にも送りました。

■現在の仮住まいは急いで決めた所、当座のつもりでしたがもう2年6ヶ月にもなり、福島の問題とは全く別の世界。馴染んだ風景・物に触れられないのは真に心身を少しずつ破壊して行くものです。土のある生活がしたい。

■どこに落ち着いたらいいのか見当付かず、家を買った方がよいのか、それとも施設入所した方がよいのか迷います。あちこちで新築したとか家を購入したとか聴くとあせってしまいます。

■悩みに悩んで母子避難をしました。主人は福島県。果たしてこれで本当に良かったかどうか、毎日悩む日々です。

福玉便り
6月号

マダガスカールゲームで福玉
福玉市立小中学校の児童が、マダガスカル共和国の文化や歴史を学ぶためのゲームを開発しました。

進学教員説明会
福玉市立小中学校の進学教員説明会が、福玉市立小中学校の体育館で開催されました。

福山茶の茶種が体験しませんか
福山茶の茶種が体験しませんか。福山茶の茶種が体験しませんか。

福玉 ママカフェ

1 福玉市立小中学校の進学教員説明会
2 福玉市立小中学校の進学教員説明会
3 福玉市立小中学校の進学教員説明会
4 福玉市立小中学校の進学教員説明会
5 福玉市立小中学校の進学教員説明会
6 福玉市立小中学校の進学教員説明会
7 福玉市立小中学校の進学教員説明会
8 福玉市立小中学校の進学教員説明会
9 福玉市立小中学校の進学教員説明会
10 福玉市立小中学校の進学教員説明会
11 福玉市立小中学校の進学教員説明会
12 福玉市立小中学校の進学教員説明会
13 福玉市立小中学校の進学教員説明会
14 福玉市立小中学校の進学教員説明会
15 福玉市立小中学校の進学教員説明会
16 福玉市立小中学校の進学教員説明会
17 福玉市立小中学校の進学教員説明会
18 福玉市立小中学校の進学教員説明会
19 福玉市立小中学校の進学教員説明会
20 福玉市立小中学校の進学教員説明会
21 福玉市立小中学校の進学教員説明会
22 福玉市立小中学校の進学教員説明会
23 福玉市立小中学校の進学教員説明会
24 福玉市立小中学校の進学教員説明会
25 福玉市立小中学校の進学教員説明会
26 福玉市立小中学校の進学教員説明会
27 福玉市立小中学校の進学教員説明会
28 福玉市立小中学校の進学教員説明会
29 福玉市立小中学校の進学教員説明会
30 福玉市立小中学校の進学教員説明会



小さな声を聴く会 福玉ママカフェを開催しました。

県内に避難中の「警戒区域外」いわゆる自主避難の方は、その実態も曖昧で支援の狭間にひっそりといらっしゃいます。とくに子どもの健康や差別などを心配して避難してきている子育て世代の方は多く、元々埼玉にあった「転勤でたまたま埼玉に来て孤立する子育て」の課題と重なります。緊急支援から、日常をサポートしあえるつながりができることをめざし、まずママたちが安心して話せる場づくりをしました。



印刷を担当してくださっているゼロックス端教員倶楽部のみなさんと浪江町から鴻巣市に避難中の篠原さん

「あのときは、とにかく避難しなければと、引っ越しや学校の手続きや毎日の生活に追われて、自分や子どものことを顧みる余裕がなかった。当時の記憶は曖昧ですべてがグレーに見えています。ようやく外に出て同じ境遇に悩む人とお会いしたいと思えるようになりました」

新たな居場所になりました。

福玉便りのご縁で、受け入れてくださった別所沼プレーパークを安心して過ごせる場所として利用して下さるようになりました。「福島では安心して遊ばせることができなかったけれどやっぱり子どもは外で元気に遊んで欲しい。ここへ来てようやくその願いが叶いました」(福島市からさいたま市へ避難中 Kさん)

「プレーパークは特別何か普段と変わったことを用意するわけじゃなくても、子どもたちは好きに遊び、大人はゆっくり話す、という過ごし方ができる場所です。震災から3年たち、避難されて来た方の思いも様々だと思います。ここで暮らしていこうと決めた方、まだ先行きがわからない方…その胸のうちを素直に語ることも許されないような状況があったり、埼玉での慣れない暮らしに不安や孤独を抱えたり、といったことがあったそうです。そんな中、集まる拠点になれたり、普通に埼玉の人と友達になれる場になれたらうれしいなと思っています。いつも通り、遊んでればいいんだと思うんですけどね☆」(受け入れ:さいたま冒険遊び場・たねの会佐藤さん)



隔月で開催される福玉会議には当事者・支援者グループのリーダーと自治体の担当者などが集まる



毎月1回ときわ会館から発送する際にお手伝いできるボランティアのみなさん

- 第1回 3.12 水庵 (越谷) 8名
- 第2回 4.18 ここほとと (川越) 24名
- 第3回 6.2 With You さいたま 10名

担当からひとこと
大学の仕事などもあり、現場にいける時間は少ない中ででもできることをと2年前に創刊したのが「福玉便り」です。人を分断していくのが放射能だと実感する2年でした。月刊での発行は、時に息が切れそうになりますが、情報の収集、編集、印刷、発送、それぞれの場面で、多くの方にご協力いただくことで発行が続いています。このお便りがあることで、一つでもよい出会いがあってほしいと願っています。(西川)

昨年4月から、県内に避難されている方への取材、避難者のための施策についての取材、カレンダーのレイアウト、福玉会議への出席などに携わりつつ、中央共同募金の事務を担いました。避難は今後もしばらく続き、個々に課題や状況や願いも違う。支援はまだ足りず、その間にも子どもはどんどん成長する。長く冒険遊び場づくりに関わって来た私自身も「外遊びをしよう!」と積極的に呼びかけられない時期がとても辛かったのですが、子どもたちの育ちについて同じように悩む避難者の方に助けられてようやく向き合うことができるようになりました。(谷居)

事業報告 4 ●おとうさんのヤキイモタイム

主に父親の地域での仲間づくり、コミュニティづくりをめざした「おとうさんのヤキイモタイム」キャンペーンは、今年も自主開催の実行委員会として行いました。昨年同様、無理のない範囲でということ、新規の開催地と東日本大震災および原発事故の避難者の方々と一緒にヤキイモをしてくださるところを応援することしました。

また、今年度も埼玉県の後援をいただいたほか、さいたま市からも後援をいただきました。また、ハンズオンとしても、避難者の方にもよびかけて、11月16日(土)「おとうさんのヤキイモタイム at かぞびば」を加須市騎西中央公園にて開催しました。(共催：埼玉冒険遊び場づくり連絡会)

各地からあたたかい報告をたくさんいただきました。

【活動の記録】

- 2013年9月 開催地募集チラシ配布
- 10月 受け付け開始
- 11月16日 おとうさんのヤキイモタイム at かぞびば
- 11月～3月 県内40カ所で開催(うち1ヶ所は雨のため中止)

●後援

埼玉県、さいたま市

●協力、ご寄付など

- 生活協同組合パルシステム埼玉様
おいも10kg×40カ所分をご寄付いただきました。
- (一社)埼玉県労働者福祉協議会様
運営にかかる費用の一部(開催チラシと、芋の発送代)をご負担いただきました。

■「ひとりごと」本番を想定してやってみましたが、その時に試行錯誤しながら意見交換したことが、仲間作りとしてうまくいったと思います。

当日は、けん玉や竹とんぼ、竹馬等昔遊びで時間を費やした。やり方がわからない子どもも父親や他のお父さんにも聞いて教えてもらいながら遊んでいる姿が微笑ましかったです。(さいたま市・小学校おやじの会)

■事前にお父さんの協力隊を募ったのですが、その時は快く受けてくださったのは、5名だけでした。その他は「予定を見てみないと...」「考えてみます」などの答えが多かったのですが、当日事前の声掛けが良かったのか家族での参加がとても多く、朝の時点で「協力OK!」のお父さんが14名以上になりました。とても協力的で、パパ達のおしゃべりもとても楽しそうにはずさずしていました。(東松山市・子育て支援センター)

■事前に、前出席者のお父さんに連絡をし、打ち合わせを行いました。お父さんの友達にも参加して頂けるよう周知のお願いと、お父さん自身にアイデアをいただき、全員参加の「まっほうづくり探イモ」を企画しました。当日はお父さん同士が力合わせて火の準備や「ゲーム」に協力していただきました。

当日は、お天気にも恵まれ、外でお芋を焼いている間の「松ぼっくりさがし」も幼児さんから小学生、保護者まで楽しく遊ぶことができました。お芋を焼く準備は、幼児さんもお父さんと並び、自分で新聞紙を水につけてアルミを巻いて参加していました。参加者に「焼いてみたいもの」を持参してもらいました。行事後、アンケートの中には、「毎年行なっていたことを知らなかったのだから、企画から参加したいです」とご意見頂きました。(草加市・児童センター)

■まっほうづくりの甘いお芋、本当に美味しかったです。自分達で作るから、尚更、子供も大人も余すことなく夢中で食べました。有難う御座います。また、来年も宜しくお願い致します。

準備中の遊びとして段ボールハウスを作ってみました。ヒットでできた子供達の創造力を引き出せました。穏やかな天候の中、のんびり過ごせてとても良かったです。

○楽しかった事。1. 手を振って火遊びができた事。2. 甘くて美味しい芋を食べた事。3. 寒い場所でのコーヒの味。4. 娘の素敵な笑顔が見れた事。

○やばいなと思った事。1. 火を見ながらニヤニヤしてた事。2. 畑で走って膝がガクガクした事。3. 娘の笑顔をニヤニヤみてた事。

年を追う毎に、下準備からお手伝い頂き、みんな分担するスタイルが定着してきました。みんな

でほっこり出来るイベント、今後も続けたいです。(川越・幼稚園おやじの会)

■とても楽しみにしていた方が多く、時間前に集まって火起こしをはじめてくださいました。ドラム缶を6ヶ所用意しましたが、各場所にお父さん・お母さんがついて、子どもたちを仕切って火起こしやヤキイモ作業をしてくれました。子どもたちはお芋を「おっこの発見」「コレ絶対美味しい」と自分好みのものを選んでから新聞紙・アルミホイルに楽しそうに包んでいました。自分で包んだお芋を大人たちと一緒に観察して「まだかな」「ヤキイモの匂いがしてきたよ」と楽しそうに過ごしていました。

普段はお迎えの時間がバラバラな事もあり、保護者間の交流がありませんが、このような会を開くことによって保護者どうしでの交流を持つことができる良い機会だった。お父さんに火起こしをお願いすることで、各場所にお父さんが配置できてよかった。(東松山・児童センター)

■一年生の参加率が多く、大きなお芋を持って来て焼けるまでに時間が掛かっている子供が多かったです。(配布した案内にはお芋が大きいと時間を要すると記載済)子供は飽きてしまいましたが、お父さんはずっとその場でヤキイモが焼けるのを見ていた姿が多かったです。又、低学年のお母さんからお芋焼けたました?と質問があり、アルミホイルはまだそれ程焦っていない状態。「どの位に投入しましたか?」と確認したら5分前との回答。電子レンジの普及とともにお母さんもお芋を焼くようになった事。しかし、時間をかけて焼いたお芋の美味しさが分かっていただけで主催者としてとても良かったです。(春日部市小学校おやじの会)



2013年

実施日【自治体】グループ名/開催地

- 10/24【草加市】あずまようちえんイモやき隊/あずま幼稚園 第2グラウンド
- 11/02【八潮市】八潮ルーキーバドミントン倶楽部/小倉あさひ幼稚園そば
- 11/03【志木市】宗岡第三小学校 PTA/校庭
- 11/09【東松山市】子育て支援センターソール/園庭
- 11/09【朝霞市】朝霞の森1周年記念実行委員会朝霞の森/朝霞市青葉台公園となり
- 11/10【東松山市】とうしょう幼稚園/子育てサロン東松幼稚園
- 11/10【東松山市】第二仲良し保育園 OB リコウ研修所裏
- 11/16【さいたま市】北浦和図書館&厚德幼稚園/厚德幼稚園 園庭
- 11/16【蕨市】父親クラブ@塚越小学校/蕨市立塚越小学校校庭
- 11/16【深谷市】さくらんぼ保育園後援会/さくらんぼ保育園
- 11/16【加須市】埼玉冒険遊び場づくり連絡会/騎西中央公園
- 11/17【鳩ヶ谷市】彩の国県南おやこ劇場/さいたま市さき山記念公園
- 11/23【川越市】ルンビニ幼稚園 るんびにババの会/園庭
- 11/23【所沢市】北秋津小学校 子どもと遊ぶほう会/所沢市立北秋津小学校校庭
- 11/23【草加市】草加市氷川児童センター/草加市立氷川児童センター館庭
- 11/30【越谷市】あぜがみりんご保育園/あぜがみりんご保育園園庭
- 12/07【春日部市】春日部市立上沖小学校 PTA おやじの会/体育館前の花壇
- 12/07【東松山市】学童保育きらめきクラブ いちのかわ/園庭
- 12/07【東松山市】学童保育きらめきクラブ まつに/園庭

2014年

- 12/07【東松山市】学童保育きらめきクラブしんめい/園庭
- 12/07【東松山市】学童保育きらめきクラブたかさか/庭
- 12/07【草加市】つどいの広場ばふハウス/しのは公園
- 12/08【新座市】特定非営利活動法人暮らしネット・えん/お庭
- 12/14【東松山市】きらめきクラブ からこ/園庭
- 12/14【さいたま市】大宮南小ババ・コミクラブ/校庭
- 12/14【越谷市】越谷どろんこ保育園/園庭
- 12/15【上尾市】昔あそびを広げる平方おやじの会/園庭
- 12/15【川口市】柳崎小やなぎの会(おやじの会)/校庭
- 12/15【川口市】自然探検コロポックルくらぶ/綾瀬の森
- 12/18【川越市】高の葉保育園/高の葉保育園 園庭
- 01/18【川越市】初雁幼稚園 公式親父倶楽部しはん会/伊佐沼農業ふれあいセンター体験農園
- 2014年
- 01/18【狭山市】御狩場小学校 おやじの会/御狩場小学校 校庭
- 01/18【さいたま市】さいたま市立宮前小学校 おやじの会/宮前小学校 図工室及びその周辺
- 01/19【上尾市】上尾市立東小学校 体育館前ロータリー/上尾市立東小学校体育館前ロータリー
- 01/25【上尾市】尾山台小学校おやじの会/校庭
- 02/01【和光市】NPO法人わこう子育てネットワーク/和光市総合児童センター
- 02/11【新座市】東北三原あそぼう会/新座市立下東公園(通称ライオン公園)
- 02/09【さいたま市】尾真木オヤジ会/尾真木内谷公園
- 03/23【さいたま市】さいりババ/秋ヶ瀬公園
- 03/26【庄和町】キッズセンター・さくら/園庭



事業報告 2 ●さいたま市父子健康手帳『さいたま市で父になる』

NPO 法人ハンスオン!埼玉 TEL048(834)2052 FAX048(826)2052 2014年3月6日発行



この度、さいたま市とNPO法人ハンスオン!埼玉の協働で、さいたま市独自の父子健康手帳『父子手帖・さいたま市で父になる』を発行しました。さいたま市で妊娠届けを出すと、母子手帳と一緒にもらえるほか、子育て支援センターなどで配布される、新しいお父さん向けの育児のガイドブックです。ハンスオン埼玉は企画制作デザインを担当しています。



編集方針

「イクメンは増えたけれど子どもを遊ばせながら立ち話をするご近所さんがいない」「仕事も育児も頑張りすぎるお父さん」… 「正しいお父さん」を求めず、「地域のみなが応援しているよ」「子どもと向き合ったり、家族カプセルになることなく、外にどんどん出てみよう!」と提案しています。

NHK ニュース、新聞各紙でとりあげられ、2014夏の現在もテレビ・ラジオなどで関連の報道が続いています。

【活動の記録】

- 2013年9月 制作受託者の公募・選定
- 10月 編集作業開始
- 取材・執筆・デザイン・監修
- 2月28日 納品・配布開始



●報道

- 朝日新聞 2014.03.13 埼玉版
- 読売新聞 2014.03.13 埼玉版
- 毎日新聞 2014.03.10 埼玉版
- 毎日新聞 2014.05.09 東京本社版
- 産経新聞 2014.06.19 全国版
- さいたまリビング WEB版

深堀り編集部

- NHK ニュース 2014.03.25 首都圏
- テレビ埼玉 2014.05.18
- 「のびのびCITYさいたま市」
- TBS テレビ 2014.05.14
- 「あさチャン!」チャン知りコーナー
- 日本テレビ 2014.05.14
- 「スッキリ!!」9時ッス



●反響

twitter 「これ良いなあ」「これ、良いね!男性もこう言うのあれば意識するし、育児のわからない所も書いてくれそう!」「『子どもができた男性に地域の人たちも応援していると感じてもらえるような手帳にしました』というコンセプトはステキだ〜(*^_^*)」「『つづやキロク』というネーミングはダサいが、父親は育児記録をつけようという発想自体がゼロなので、こういう仕組みは賛成。」「いいな、と思ったけど、情報提供と気持ちの記録に留まるのか。普通に健診に同行した時の記録ページとか育児技術についてのtipsがあってもいいと思う。2人で育てるんだからさ。」

さいたま市で父になる。プロジェクト。まちの人たちが応援してくれています! がんばりすぎちゃうお父さん、肩の力が抜けるといいなあ。

つづやキロク

パートナーの様子の変化や、子どものときにしかきけない「言い間違い」…観察するといろいろ見えてくる!?

パパ つづやキロク ~ 20歳になるまで

子育ては、息の長い営みです。息切れしないように、ゆっくりと、その持ちを味わいながら、そしてたまには記録しながら、歩いていきましょう。

妊娠!

- Q1 「赤ちゃんができた」と最初に聞かされたとき、どんな風に感じましたか?
- Q2 ママのお腹がふくらんできました。あなたの気持ちは?
- 帯祝い(絆輪5かけ) 出陣! とし 産を祈願しよう! に安産を祈る。と、いっているぞ?

病氣・障害のこと

出生前診断の是非が問われているなか、どうしても、健常児のお父さんにも、知っておいて欲しい。

たとえ病氣や障害があっても子どもはみんな、同じ子ども

産まれてくる子どもは、いろいろな子がいます。病氣は悪い病氣や難病の子。心身になんらかの障害がある子。あなたがそのような子の親になったとき、何をどう考えてよいのかもわからず、

失敗回。

たくさんの経験談を寄せてくださったさいパパ・さいたまパバスクールのみなさん。子育てに正解はありませんね。

散歩をしよう

~子どもとともに、まちに出会い直す~

散歩のススメ。

子どもと外に出てみると、いろんな人やまちの景色に出会えました。あなたもぜひ!

- 「ハイハイは、うつ伏せです。背面でした。ママは面白いが、嬉しいですね。大丈夫ですよ。たぶん。と書かれるのがすごく嬉しい。私は、産後のお腹がすごく膨らんだと思ったんだけど、(笑)」
- 「子どもの成長の遅れなどは気にしていませんでした! 1ヶ月に産まれても、2ヶ月に産まれても開眼生だから気にしてもしようがないかなと思いましたが、子どもは子どものペースで成長するから心配ないかな! (笑)」
- 「うちが1日日出ないことがあって、次の日に出たうちがが大変! 自分まで産れが広がりました。笑うしか無かったです。(笑)」
- 「一度、お腹がふくらんでみたが意味がわからなかった。産を祈るのを見てみたがやはり意味がなかった。(笑)」

もっとよいものができるように感想を聴かせてください! ☺



細谷亮太
聖路加国際病院 特別顧問
小児総合医療センター長



田代美江子
埼玉大学 教育学部教授



小崎恭弘
大阪教育大学 准教授

『さいたま市で父になる』父子手帖 さいたま市父子健康手帳
発行: さいたま市子ども未来局子ども育成部 子育て支援課
企画・編集・デザイン: NPO法人ハンスオン!埼玉
発行: 平成26年3月 部数: 15000部 判型: A5判 36頁

- 協力: さいパパ
- 監修: 細谷亮太、田代美江子、小崎恭弘
- 作成スタッフ
小澤千佳子 加藤恒 村田菜穂子 (さいたま市子ども未来局子ども育成部 子育て支援課)
谷居早智世 西川正 山田孝文 吉田知津子 (特定非営利活動法人ハンスオン!埼玉)

●パパあるある(?)… 夜泣き対応のため睡眠が取れず、会議で居眠りをして、上司に怒られた。

facebook

いいね!を取り消す コメントする シェア
120 17 シェア50件
5,178人にリーチ 掲載の広告を出す



「アイタイ会議」企画連載
2013.4-2014.3 『ボランティア情報』
全国社会福祉協議会発行

護る。

NPO 法人ほっとポット
支援者向けリーフレット
企画デザイン
リニューアルを受託。



『開発教育』60号
NPO 法人 開発教育協会よりデザインを受託。



『リフレクションブック』レイアウト受託



『私のだいじな場所 公共施設の市民運営を考える』
完売御礼！



『市民の会議術 ミーティング・ファシリテーション入門』市民のミーティングファシリテーションの第一人者、マーキーこと青木将幸さん、初めての著書。みんなが社会の当事者となるための会議のアイデア・赤裸裸に語られる失敗談・心得を志賀壮史さんのかわいいイラストとともに。「表紙裏の裏話」「付録のお茶コーナーのお作法」にハンズオンらしさがこもっている必読の書。

担当者からひとこと

昨年度 2,266 冊の販売から、今年度は 7 月から amazon での販売も始まったり、2 冊目の著書『アイスブレイク Best50』（ほんの森出版）が発売されたこともあり 5 月末時点で累積 3574 冊（今年度は 1308 冊）をお届けすることができました。

2015 年度は 3・4 冊目も発売されるとのことで、今後も地道に届け続けていけるものと思います。一方、今年は議会運営などで、強引な会議の進め方や野次など気になる場面も目立ちました。もっとたくさんの方に民主的な会議の進め方・ファシリテーションのあり方を知って欲しい！（たにい）



アイスブレイク研究会

青木将幸さんの 2 冊目の著書『アイスブレイクベスト 50』出版をうけ、社会のアイスブレイカー・ハンズオン！埼玉としても昨年に引き続き、会議や講座やイベント・授業で、メンバーの緊張感を解きほぐし、リラックスして交流や活動に参加してもらうためのアイスブレイク実践研究会を新学期開始直前に実施、大学の授業やサークルの勧誘、環境教育・社員研修などで使いたい、という教員や会社員、学生など 15 名が集まりました。『アイスブレイクベスト 50』に掲載の 50 を片っ端から全部やる！勢いで 1 日費やしましたが 27 コまでで終了、「続きをやりたい」という声が続出しています。



8 3月22日 東大宮コミュニティセンター
10:00 ~ 16:00 参加者 15 名

事業報告 7 ● 講師派遣事業

日時/分類	テーマ	依頼者	担当
6月13日 講師	NPOと出会う	埼玉大学	若尾
6月14日 講師	ワークショップ実践 特別講義	武蔵野美術大学	谷居 若尾
6月21日 ファシリテーター	生活クラブ生協研修 会議力アップ・効果的な会議の方法	NPO法人大人の学校	川田
7月3日 講師	思わず参加したくなる！募集チラシの作り方	ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)	吉田
7月5日 講師	北区児童館ネットワーク事業	東京都北区子育て支援課	西川
7月19日 講師 & ファシリテーター	保育所主任保育士研修会 7/19東京8/1大阪	日本保育協会	西川
7月28日 事例発表	『地域の要』養成講座 ～新しいリーダーのスキル～	板橋ボランティアセンター	西川
7月31日 ファシリテーター	社会教育主事講習	九州大学	西川
8月24日 全体会パネリスト他	第6回冒険遊び場づくり全国研究集会	同集会実行委員会	西川
8月31日 講師	考えよう！自分のできる社会貢献活動	葛飾区市民活動支援センター	西川
9月2日 スピーカー	聖学院大学リーダーズキャンプ リーダーとは？	聖学院大学学生課	川田
9月13日 講師 & ファシリテーター	北区児童館職員研修	北区職員研修	西川
10月4日 講師	研修	東京都社会福祉協議会	吉田
11月16日 ファシリテーター	埼玉県社会福祉士会コース継続研修 会議力アップ・効果的な会議の方法	公益社団法人埼玉県社会福祉士会	川田
11月29日 講師	こどもの遊び場づくりはまちづくり ～地域のコミュニケーションが変わる仕掛け作り～	冒険おかがき・福岡県岡垣町	西川
11/29-30 ゲストスピーカー	タイトル: ぼくらの commons ! in ふくおか ～子どもの生活・遊びに寄り添うことで	PLAY FUKUOKA	西川
12月1日 講師	佐賀県放課後子どもプラン研修会	佐賀県・NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会	西川
12月18日 講師	クッキープロジェクト実践報告	目白大学	若尾
12月19日 講師	コミュニティワーク・ゲスト講師	岩手県立大学	西川
1月25日 講師	あの人に伝わるつながる効果バツグンの広報とは？～想い	第4回子育て応援とうきょう会議協働会員勉強会	吉田
1月25日 事例発表	市民活動の広げ方、進め方を考え、「伝える力を高める」 トークセッション「企業に伝える」	さいたま市市民活動サポートセンター	若尾
1月25日 ゲストスピーカー	「次世代に伝える」	さいたま市市民活動サポートセンター	川田
2月1日 講師	市民をお客様にしない企画とは	ファンレイジング協会	吉田
2月1日 ゲスト	“ヤキイモ カフェ” in 和光市総合児童センター	主催: 和光市、わこう子育てネットワーク“パパ組他	西川
2月8日 事例発表	分科会「福祉作業所がつくるものをもっと身近に！」	市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2014	若尾
2月11日 講師	「まちカツ！／広げようみんなの力！」	川崎市多摩区まちづくり協議会	西川
2月19日 講師	研修	武蔵野市男女共同参画市民会議	吉田
2月23日 講師	「親子で楽しむヤキイモのすすめ」	町田市社協・ボランティアセンター	西川
2月25日 ファシリテーター	ボランティア団体連絡会議	日高市・日高市社会福祉協議会	西川
2月25日 講師	支え合い活動入門講座	三芳町社会福祉協議会	川田
2月28日 ファシリテーター	社会福祉研修『特定課題研修』地域の会議	岩手県立大学	西川
3月1日 講師	みんなでつくるってほんとにできるの？ する人してもらう人の関係を考える	NPO法人岡山市子どもセンター	西川
3月3日 報告	大学ボランティアセンターの役割	東京・ボランティア市民活動センター	川田
3月5日 ファシリテーター	花見堂小学校跡地活用検討ミーティング	場所づくり研究所(有)プレイス	若尾
3月8日 ゲスト	冬の焼きイモ・雪遊び	石狩市子育て支援サークルTime	西川
3月14日 ファシリテーター	よりよい会議の進め方	埼玉大学生ボランティアネットワーク(わかたま)	川田
4月21日 講師	お役所運営は知らない～これからの公共のあり方を考える	塩尻市	西川
4月26日 講師	高齢者福祉における住民の役割	越谷政策フォーラム	川田
5月7日 講師	内部研修	入間市児童民生委員	吉田
5月7日 講師	ヤキイモタイムからはじまる～つながりのはなし	NPO法人小平市民活動ネットワーク	西川



●取材

吉田 ● NPO 広報研究会・TVC 東京ボランティア市民活動支援センター「ネットワーク」・きょうざれん「TOMO」・明るい社会づくり運動「はとふる」ほか

●委員 西川 ● 桶川市協働推進委員会アドバイザー・さいたま市市民活動推進委員会委員 川田 ● 社会福祉法人日高市社会福祉協議会ボランティアセンターに関する検討会議 委員 草加市ふるさとまちづくり応援基金運営会 委員 社会福祉法人埼玉県共同募金会 共同募金推進委員会作業部会委員

2013年度 活動計算書

2013年06月01日～2014年05月31日

特定非営利活動法人ハズオン埼玉 特定非営利活動に係る事業の会計

(単位：円)

(経常増減の部)			
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	300,000		
賛助会員受取会費	99,000		
受取会費計		399,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	458,428		
受取寄付金計		458,428	
3. 受取助成金			
受取民間助成金	2,228,700		
受取助成金計		2,228,700	
4. 事業収益			
自主事業収入	4,344,496		
受託事業収入	2,730,000		
事業収益計		7,074,496	
5. その他収益			
受取利息	286		
雑収益	278,000		
その他収益計		278,286	278,286
経常収益合計			10,438,910

II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	864,000		
人件費計	864,000		
(2) その他費用			
売上原価	704,584		
旅費交通費	91,775		
通信運搬費	838,920		
消耗品費	35,442		
新聞図書費	26,880		
印刷製本費	1,201,889		
諸謝金	3,211,100		
支払手数料	17,017		
雑費	2,590		
その他経費計	6,130,197		
事業費計		6,994,197	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	1,656,000		
法定福利費	305,628		
人件費計	1,961,628		
(2) その他費用			
旅費交通費	131,040		
通信運搬費	197,771		
消耗品費	57,442		
新聞図書費	11,000		
研修費	16,000		
印刷製本費	31,862		
水道光熱費	78,083		
支払地代家賃	735,428		
諸会費	57,500		
支払手数料	1,313		
租税公課	2,000		
雑費	34,686		
その他経費計	1,354,125		
管理費計		3,315,753	
経常費用合計			10,309,950
当期経常増減額			128,960
経常外収益合計			0
経常外費用合計			0
税引前当期正味財産増減額			128,960
法人税、住民税及び事業税			70,000
税引前当期正味財産増減額			58,960

※その他事業は行っていません。

【別表】事業別損益の状況

(単位：円)

科目	福玉事業	父子手帳	ヤキイモタイム	講師派遣	書籍出版	事業部門合計	管理部門合計	合計
I 経常収益								
1. 受取会費								
正会員受取会費						0	300,000	300,000
賛助会員受取会費						0	99,000	99,000
受取会費計	0	0	0	0	0	0	399,000	399,000
2. 受取寄付金								
受取寄付金			35,000			35,000		35,000
福玉募金	423,428					423,428		423,428
受取寄付金計	423,428	0	35,000	0	0	458,428	0	458,428
3. 受取助成金								
受取民間助成金	2,228,700					2,228,700		2,228,700
受取助成金計	2,228,700	0	0	0	0	2,228,700	0	2,228,700
4. 事業収益								
自主事業収入				462,300	3,882,196	4,344,496		4,344,496
受託事業収入		2,730,000				2,730,000		2,730,000
事業収益計	0	2,730,000	0	462,300	3,882,196	7,074,496	0	7,074,496
5. その他収益								
受取利息							286	286
雑収益							278,000	278,000
その他収益計	0	0	0	0	0	0	278,286	278,286
経常収益合計	2,652,128	2,730,000	35,000	462,300	3,882,196	9,761,624	677,286	10,438,910

科目	福玉事業	父子手帳	ヤキイモタイム	講師派遣	書籍出版	事業部門合計	管理部門合計	合計
II 経常費用								
(1) 人件費								
給料手当	864,000					864,000	1,656,000	2,520,000
法定福利費						0	305,628	305,628
人件費計	864,000	0	0	0	0	864,000	1,961,628	2,825,628
(2) その他費用							0	0
売上原価					704,584	704,584		704,584
旅費交通費	83,045	7,990			740	91,775	131,040	222,815
通信運搬費	642,903	6,830			189,187	838,920	197,771	1,036,691
消耗品費		21,569	10,390		3,483	35,442	57,442	92,884
新聞図書費					26,880	26,880	11,000	37,880
印刷製本費	72,350	688,750	9,689		431,100	1,201,889	31,862	1,233,751
諸謝金	720,000	1,550,000		201,100	740,000	3,211,100		3,211,100
支払手数料	10,905	2,400			3,712	17,017		17,017
雑費					2,590	2,590	34,686	37,276
研修費						0	16,000	16,000
水道光熱費						0	78,083	78,083
支払地代家賃						0	735,428	735,428
諸会費						0	57,500	57,500
支払手数料						0	1,313	1,313
租税公課						0	2,000	2,000
その他経費計	1,529,203	2,277,539	20,079	201,100	2,102,276	6,130,197	1,354,125	7,484,322
支出合計	2,393,203	2,277,539	20,079	201,100	2,102,276	6,994,197	3,315,753	10,309,950
当期経常増減額	258,925	452,461	14,921	261,200	1,779,920	2,767,427	-2,638,467	128,960

会計報告 2 ● 財産目録

2014年5月31日現在
(単位：円)

科目	摘要	金額		
資産の部				
流動資産				
現金	手元現金	43,051		
普通預金		3,902,340		
	中央労働金庫 さいたま支店	107,193		
	中央労働金庫 さいたま支店福玉	148,387		
	埼玉りそな銀行浦和中央支店	2,900,956		
	ゆうちょ銀行貯金	86,553		
	ゆうちょ銀行郵便振替口座	173,315		
	ゆうちょ銀行郵便振替口座福玉	485,936		
前払費用	事務所賃料6月	62,714		
商品	書籍1,494冊	627,480		
流動資産合計			4,635,585	
固定資産				
敷金	事務所敷金	160,000		
固定資産合計			160,000	
資産合計				4,795,585
負債の部				
流動負債				
未払金		28,250		
	2014年5月分社会保険料 事業者負担	28,250		
未払法人税等	2013年度 地方税均等	70,000		
預り金		74,220		
	源泉所得税(給与)	15,000		
	2013年5月分 社会保険料 本人負担	59,220		
流動負債合計			172,470	
固定負債				
長期借入金	理事6名	870,000		
固定負債合計			870,000	1,042,470
負債合計				
正味財産合計				3,753,115

会計報告 3 ● 貸借対照表

2014年5月31日現在
特定非営利活動に係る事業の会計
(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	43,051	未払金	28,250
普通預金	3,156,536	未払法人税等	70,000
郵便貯金	86,553	預り金	74,220
郵便振替口座	659,251	流動負債合計	172,470
前払費用	62,714	固定負債	
商品	627,480	長期借入金	870,000
流動資産合計	4,635,585	固定負債合計	870,000
固定資産		負債合計	
敷金	160,000	1,042,470	
固定資産合計	160,000	正味財産の部	
		正味財産期首残高	3,694,155
		当期正味財産増減額	58,960
		正味財産合計	3,753,115
資産合計	4,795,585	負債及び正味財産合計	4,795,585

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日 2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会）によっております。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法は最終仕入原価法によっております。

(2) 消費税などの会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっております。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は別表の通りです。

3. 施設提供等の物的サービス受入れの内訳

内容	金額	算定方法	寄付者
さつまいも	80,000 円	10kg2,000 円×40 箱	パルシステム埼玉
さつまいも郵送費	28,000 円	700 円×40 箇所	埼玉労働者福祉協議会

4. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

担保提供している資産、保証債務、重要な後発事象は存在していません。

(第三種郵便物認可)

地域を元気に 「域メン」パパ

父親が遊びや子育てを通して地域をつなぐ活動を、各地で盛ん。子育てに積極的な「育メン」のよき友、地域を元気にする父親は「域メン」とも呼ばれる。ゆるやかな上下のない関係が、長続きするこのつながりだ。

「気楽に話せる」各地で盛ん

遊びや子育て 深めるつながり



子どもたちと焼き芋をつくる父親たち。2月、埼玉県新座市

2月の休日、雪のちらつく、焼き芋をつくる会に約90人が集まった。初対面のお父さん同士が、遠慮がちに声を掛け合いながら火をたき、プレレジャーの関戸博樹さん32が、地元で遊び場をつくらんと企画した。昨年12月に続き、向月。裏が動く平日は3歳の長男の世話をし、週末に東京の公園で遊び場をつくらんと動く。

関戸さんは材料を運ぶとすぐ「子どもと遊ぶ」「ああして」と言わなくてもみんな動いてくれるから、焼き芋を配る人。役割は自然に決まる。火を囲むと親しくも湧く。

「会社の人と話すときは利害が気にならず、地域の人とは気楽に話せる」「作業しながらだとなんか話しやすい」と参加者にも好評。関戸さんは「お父さんには遊びを引っ張る力がある」と手応えを感じている。

2014.2.27
埼玉県新座市

関戸さんの企画は、市民参加型の街づくりを掲げるNPO法人「ハンスオン埼玉」(さいたま市)が支援した。父親と子どもが対象の焼き芋会を2005年から13年まで、埼玉県新座市に580カ所で開催。延べ約4万7600人が参加し、共催者の独自開催も多かった。

西川正常編集長(47)は、地元で何かやりたい、友だちをつくりたいというお父さんは潜在的にたくさんいる。さらに、こうした活動を地域の間を繋ぐという。「普段から一緒に遊ぶのであれば、子どもも同じく、子育て相談会や悩みも聞いている。4人の子もいる1期生の会社員経営者さん(43)は「子育てに正解はないと知っていた。若いお父さんの話も勉強になる」と意義を語る。

仲間同士が子連れで顔を合わせるうちに、家族ぐるみの付き合いも生まれた。2月の会合では、1期と2期の親子が交じって遊んだ。

結さんは、お父さんとの「絆」の関係を「大事。自分の子どものことを考えると、子どもの友達や地域のことも大切になる」と話した。

彩人伝

東日本大震災で被災地から避難してきた人たちのための情報誌「福玉便り」の編集長を務める。「地域の輪に入らず孤立する避難者は多い。たくさん情報を届け、輪を広げ、さっかけにしてほしい」と話す。

1967年、福岡県生まれ。福祉支援を行うNPO法人「ハンスオン埼玉」常務理事。専攻は児童心理学。編集長として「福玉便り」を創刊。2012年3月、福玉便りを創刊。

福玉便り編集長 西川正さん47 (上尾市)



6歳の時、父が事故で首の骨を折られ、下半身が動かなくなりました。母は交代わりとなり

避難者支援 情報提供で

地域の仕事や仕事に奔走し、一問題が起きた時、当事者だけの問題にするような社会は不幸だと感じた。大勢時代には一人暮らしの障害者の介助支援をし、卒業後は児童養育の指導員などを経て、障害者団体の事務局長に就任した。阪神大震災の時は被災した障害者を支援するボランティアとして被災地に入った。

原発事故から避難した約2000人が集まるさいたま市1パーアリーナには仲間ら約30人と一緒に駆けつけた。アリーナ各所に掲示板を設け、風呂や食事の時間、体調が悪い際の連絡先などを張り出した。ボランティアに避難者への応援メッセージをつづつて

最新号のイベント欄には3~4月の行事やイベントがぎっしり。「避難者を知ってほしい」との思いから、紙面に作りたくて力強く圧倒された。

記者から さいたま市1パーアリーナには仲間ら約30人と一緒に駆けつけた。アリーナ各所に掲示板を設け、風呂や食事の時間、体調が悪い際の連絡先などを張り出した。ボランティアに避難者への応援メッセージをつづつて

「会社の人と話すときは利害が気にならず、地域の人とは気楽に話せる」「作業しながらだとなんか話しやすい」と参加者にも好評。関戸さんは「お父さんには遊びを引っ張る力がある」と手応えを感じている。

「被災地から埼玉県に避難した人たちが支援する西川正さん(47)は、避難者のアンケート結果を見て、複雑な思いに駆られた。前年の結果とほぼ同じだ。何も進んでいない。避難者は孤立したままです」

NPO法人「ハンスオン埼玉」で長年、市民活動に携わってきた。震災直後は避難所のさいたま1パーアリーナで、千人単位で殺到したボランティアの調整役を買って出た。震災前後の風景は様変わりした。借り上げ住宅などに移った避難者は「見えない」存在だ。福島と埼玉の出会いが福玉になるよう願いを込め、2年前から情報誌「福玉便り」を発行する。最新の号外で、県内の市町村に聞き取った避難者数を掲載した。約5900人は発表表の数。根拠はそれぞれ異なる。



2014.3.12
朝日新聞東京本社版



くらしナビ 合 ライフスタイル

パパ同士の話が弾む「さいババ」の「しゃべりばナイト」。子育ての悩みも妻の感度も男同士ならではの—さいたま市で、浜田和子撮影



父親を対象にした育児ガイド手帳。「母子健康手帳」の父親版。母子の手帳は母子保健法に基づき、妊娠・出産から子どもの小学校就学前までの母と子の健康管理をするこ

とが主眼。厚生労働省令で様式が定められ、妊娠の届け出に応じて市区町村が交付する。これに対し、父子手帳は名称、内容、発行そのものも自由。毎日新聞の取材では現在、12都県が発行していることが分かった。

さいたま市は今年3月、父子手帳を改訂した。以前は赤ちゃんの病気を説明した教科書的なものだったが内容を一新。先輩パパたちの失敗談や苦労話など本音を満載し、育児を応援する地元の人たちの声も取り上げ、父親たちに外に出て人や自然と出会うことを薦めている。

●体験談など満載

育児に積極的に関わりたいパパ、それを望むママが増えている。そんなパパたちの取っ掛かりにと「父子手帳」を作製する自治体が次々と登場している。手帳の広がりや内容の変化の背景には、地域の固有の子育て事情や育児環境の変化が見えてくる。

次々自治体が「父子手帳」

立場いろいろ企業社員編



「まんが王国」を自任する鳥取県は、パパの存在意義や職業別の悩み、育児ストレスなどを30話の4コマ漫画で解説。それぞれの解決策を示している。

鳥取県の父子手帳に掲載されている4コマ漫画

「さあさあ、手帳に父親たちの生の声をいかにするため、市内のバググループ「さいババ」に協力を求めた。

「子育て以外の人と会える。子どもをきっかけに世界が広がった」とパパ友の大切さを語る。

「まんが王国」を自任する鳥取県は、パパの存在意義や職業別の悩み、育児ストレスなどを30話の4コマ漫画で解説。それぞれの解決策を示している。

同社編集部を担当者は「核家族化と地域社会の崩壊で、育児に身近な支援を受けにくくなっている中、共働き家庭の増加で、父親の育児参加がないと子育てが成り立たなくなっている現状がある。自治体としても育児支援として父親への啓発が必要と考えているのではないかと指摘する。

●漫画で解説も

●育児参加不可欠に

「どきやんしたらよかと!」とどうしたいのか。赤ちゃんやってくることに對する戸惑いをお国言葉で交え、正直に表現するのは、熊本県が発行する「すきすきパパ手帳」。「遊びの中で、がまんや「ルール」を教えることもパパの大切な役割」として社会性を身につけるための遊びを紹介している。

行政機関向けに1994年から「父子健康手帳」を販売している東京法規出版(東京都文京区)によると、共働き夫婦の増加や母親の産後ケアなどが問題視され、父親の育児参加を求め声が高まっていったのが手帳の刊行のきっかけという。

【浜田和子、山崎明子】

パパのためのハンドブック 明治安田生命が製作

「将来の夫婦像」なども項目に加えた。男性にはなじみの薄い育児取得にあたっての手順や復職後の注意点も盛り込み、短期間の取得でも事前に上司に必ず相談する▽取引先や社内関係部署に連絡する▽育児取得によって家庭と仕事に何がプラスになるかを整理する—などとしている。

NHK NEWSWEB screenshot showing a news article about the 'Father's Handbook' in Saitama City. The article mentions that the handbook is a 36-page guide for fathers, including advice on childcare and work-life balance. It also features a photo of a woman, likely a representative of the handbook's creators.

監査報告書

特定非営利活動法人 ハンズオン埼玉
代表理事 伊関友伸 様

平成 26 年 7 月 21 日
特定非営利活動法人 ハンズオン埼玉
監事 寺内正幸



私は、特定非営利活動促進法第 18 条に基づき、特定非営利活動法人ハンズオン埼玉の第 9 期（平成 25 年 6 月 1 日から平成 26 年 5 月 31 日まで）の理事の業務執行の状況及び財産の状況について監査を行いました。

監査の方法は、理事会に出席して理事から事業の状況を聴取するほか、重要な会議の議事録等の閲覧を行い理事に対して意見を述べ、また財産の状況については帳簿及び証憑書類の閲覧、照合、資産の実査等を行いました。

監査の結果、理事の業務の執行の状況については法令及び定款に違反する事実は存在せず、また財産の状況についても適正なものと認められます。

以上